

研究発表②



(第4会場：2F自由研修室)

■司会 山上 福範 長崎県野母崎町教育委員会社会教育課 派遣社会教育主事
田中 明子 熊本県教育庁社会教育課 社会教育主事

午後

1. コミュニティ・スポーツクラブの効用と活性化の条件

— 主役は自分、コミスポくすのき —

境 憲一〈山口県〉 コミュニティスポーツくすのき クラブマネージャー 13:30~13:55

高齢社会、地域の教育力が衰退しつつある時代の中心課題は健康と交流である、と捉えた事業である。コミュニティスポーツクラブの育成が最終目標である。遊び心を基本とし、多種目のスポーツを核にして、住民の交流を目指しながら、健康づくり、コミュニティ活動の意識の高揚がみられる。学校外における児童、生徒の活動の受け皿ともなりつつある。

2. 「しゅうとめの会」生涯学習の35年

— ボランティアから自分発見まで地域を活性化する熟女サークルの挑戦 —

清水 純子〈鳥取県〉 しゅうとめの会 会長 13:55~14:20

「会」は昭和43年に発足。以来、35年間活動を継続。目的は親睦と相互学習。「しゅうとめの会」主催の運動会、親睦研修会、「里味漬け」の製品開発と販売。ボランティア活動を通して生き甲斐を再発見し、「里味漬け」の生産、販売は活動・交流の範囲を拡大した。活動の拠点は町内の体育施設、山村開発センターである。

～ティータイム～

14:20~14:55

3. 「オヤジ夜究教室」の実験

— オヤジの異業種親睦、オヤジによる学習、みんなのためのまちづくり —

杉本 兼幸〈長崎県〉 大瀬戸町オヤジ夜究教室 会長 14:55~15:20

生涯学習講座「未来塾」が産み落とした男性のための実技講座。開催は平均月2回。副次的目的は異業種交流による親睦とまちづくりへの貢献。実技指導の講師は身近な人材を発掘。結果的に、男性の生涯学習の場を形成し、異業種間の連携によるまちづくりの「協働」体制が形成されつつある。

4. 生涯学習の広域連携から広域まちづくりの創造へ

— 「学社融合フォーラムin綺羅星7」事業の地域づくり構想 —

渋谷 秀文〈島根県〉 前津和野町教育委員会地域教育コーディネーター
大畑 伸幸〈島根県〉 益田市教育委員会地域教育コーディネーター
勝部 薫〈島根県〉 前益田市教育委員会地域教育コーディネーター
15:20~15:45

綺羅星7とは、益田市圏域7ヶ市町村の生涯学習事業に向けたニックネームである。2001年度の主題は「学社融合」であったが、最終的な事業目標は「広域の事業連携」から「広域の地域おこし」に繋げることであった。融合事業の報告会は、県内外から1,000名の参加者を集め、綺羅星7の連帯と意気盛んである。

5. 総括討論

15:45~16:15